

自治体経営研修「特別区の課題（第2回）」

【 日 時 】	令和3年2月17日（水）15:00～17:00
【 会 場 】	C I V I 研修センター秋葉原（電気街口） D 2 0 5 ホール
【 受 講 者 数 】	60名
【 講 師 】	特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ 代表 村木 真紀氏
【 研 修 内 容 】	<p>&lt;目的&gt; 特別区が直面している課題に焦点をあて、深く掘り下げて考察し、課題解決に向けた取組に必要な知識を習得する。</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「LGBT」に関する基礎知識、特別区で取組む意義</li> <li>② 特別区において推進すべき「LGBT」に関する実効性のある施策</li> <li>③ 当事者である講師自身の経験談を踏まえた「LGBT」当事者の行政手続きや相談に関する具体的対応方法</li> <li>④ 部下等から「LGBT」であることのカミングアウトを受けた際の対処方法</li> </ol> <div data-bbox="772 813 1396 1256" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">&lt; 講義の様子 &gt;</p>
【 受 講 生 の 声 】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者の方のお話しでかつ、市民活動をされている方だったので重みがあり、また問題提起も明確であった。</li> <li>・基礎知識や調査結果の解説だけでなく、具体的なエピソードの紹介や講師の課題提起もあり、改めて行政施策のあり方を考える機会を頂いたと感じた。</li> <li>・区民対応や職場内での見直さなければならない重要なテーマで、よい研修だった。コロナ対策もできていて、リモートの講師の方も身近に感じて聞くことができた。</li> <li>・今までニュースなどで何げなく聞いてきた言葉や新しく聞く言葉など、定義がしっかりと決まっていることがよくわかった。言葉をしっかりと選び、使いたいと思った。</li> </ul>